

『…今度はあっちの木や！！』 4歳児 7月



エピソード

園庭に遊びに行こうと廊下に出ると、「ミーミーミーツ」と、セミの鳴き声が聞こえてきました。A 児と B 児は、鳴き声のする方に視線を向けて嬉しそうに走っていきました。ところが、木の下に着くと鳴き声が途切れてしまいました。集まった子どもたちも「あれ?」「どこ?」と、フェンスに体重をかけて夢中で探し、気付くと無言に…

するとその時、少し離れた木から「ミーミーミーツ」と鳴き声が聞こえてきました。C児は、「あそこで鳴いてる!」と、目を見開いて言いました。それを聞いて、保育者も一緒にみんなで鳴き声のする方へ駆け足で向かいました。ところが、木を見上げてもセミは見つかりません。すると、また別の木から「ミーミーミーツ」と聞こえ、D児の「今後はあっちや!」の一言で、また次の木へ…

みんなで木から木へ全力疾走することが面白くなっている子どもたちの姿がありました。結局、その日セミには出会えませんでしたでしたが、とっても満足気な子どもたちでした。

保育者の思い

- ・“耳”“目”“足”と体の色々なところを使ってセミの居場所をキャッチし、探し回る姿がとても印象的でした。
 - ・真剣な眼差しや、楽しそうに木から木へと移動する子どもたちの姿に保育者も引き込まれ、セミ探しをする仲間として夢中で走り回っていました。
- ☆ その時期ならではの自然に触れる経験を大切にしたいと思います。また、“友達と一緒に楽しい、面白い”という気持ちを、今後たくさん味わってほしいと考えています。

子どもの育ちや学び

セミがいるみたい!

興味

好奇心

見つけたい!

どこにいるんだろう?

関心

発見

わかった! あっちだ!

上から聞こえる?

集中

思考

今度はあっち?

なんだか、みんなで走って面白いな

友達との関わり

☆このように、鳴き声に注目して自分なりに居場所を予想したり、気付いたことを保育者や友達に伝えたりする姿が育っています。また、友達への関心が大きくなり、動きをよく見たり真似たりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じています。

家庭だったら…

◎公園や家の周りなど、色々な場所で虫の鳴き声に耳を澄ませてみてください♪
これからの季節は、コオロギやスズムシなど、秋の虫たちの大合唱も聞こえるかもしれないですね。